

〔別 紙〕
様式 1

事 業 報 告 書
(自 令和 6 年 3 月 1 日 至 令和 7 年 2 月 2 8 日)

1 医療法人の概要

(1) 名 称 医療法人 愛彩利

- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
 ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特別医療法人 ☐ 特定医療法人
☐ 出資額限度法人 ☒ その他
 ③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目(③は社団のみ。)について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

(2) 事務所の所在地 山口県周南市昭和通一丁目 1 0 番地

注) 複数の事務所を有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。

(3) 設立認可年月日 平成 2 5 年 2 月 2 5 日

(4) 設立登記年月日 平成 2 5 年 3 月 6 日

2 事業の概要

(1) 本来業務(開設する病院、診療所又は介護老人保健施設(医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。)の業務)

種 類	施設の名称	施設の医療機関コード	開設場所	許可病床数
診療所	ふじい歯科 クリニック	3531530271	山口県周南 市昭和通一 丁目 1 0 番 地	一般病床 0 床 療養病床 0 床 [医療保険 0 床] [介護保険 0 床] 精神病床 0 床 感染症病床 0 床 結核病床 0 床

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実施場所	備考
該当なし		

注）地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に
【 】書で記載すること。

(3) 収益業務（社会医療法人又は特別医療法人が行うことができる業務）

種類	実施場所	備考
該当なし		

(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和6年4月6日 令和5年度決算の決定

様式 2

法人名 医療法人 愛彩利
所在地 山口県周南市昭和通一丁目10番地

※医療法人整理番号

財 産 目 録
(令和7年2月28日現在)

1. 資 産 額 41,413 千円 /
2. 負 債 額 5,575 千円 /
3. 純 資 産 額 35,837 千円 /

(内 訳) (単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	39,876
B 固 定 資 産	1,537
C 資 産 合 計 (A + B)	41,413
D 負 債 合 計	5,575
E 純 資 産 (C - D)	35,837

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

様式 3 - 2

法人名 医療法人 愛彩利
所在地 山口県周南市昭和通一丁目 1 0 番地

※医療法人整理番号

貸 借 対 照 表
(令和 7 年 2 月 2 8 日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	39,876	I 流 動 負 債	729
II 固 定 資 産	1,537	II 固 定 負 債	4,845
1 有 形 固 定 資 産	629	(うち医療機関債)	0
2 無 形 固 定 資 産	885	負 債 合 計	5,575
3 そ の 他 の 資 産	22	純 資 産 の 部	
(うち保有医療機関債)	0	科 目	金 額
		I 基 金	10,000
		II 積 立 金	25,837
		(うち代替基金)	0
		III 評価・換算差額等	0
		純 資 産 合 計	35,837
資 産 合 計	41,413	負債・純資産合計	41,413

様式 4－2

法人名 医療法人 愛彩利
所在地 山口県周南市昭和通一丁目10番地

※医療法人整理番号

損 益 計 算 書
(自 令和6年3月 1日 至 令和7年2月28日)

(単位：千円)

科 目	金 額
I 事業損益	
A 本来業務事業損益	
1 事業収益	70,492
2 事業費用	72,088
本来業務事業損失	1,596
B 附帯業務事業損益	
1 事業収益	0
2 事業費用	0
附帯業務事業利益	0
事業損失	1,596
II 事業外収益	1,792
III 事業外費用	37
経常利益	159
IV 特別利益	0
V 特別損失	0
税引前当期純利益	159
法人税等	94
当期純利益	64

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。

監 事 監 査 報 告 書

医療法人愛彩利

理事長 藤井 威 殿

私（注１）は、医療法人愛彩利の令和６会計年度（令和６年３月１日から令和７年２月２８日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注２）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して、作成されているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に準拠して、作成されているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和７年４月２３日

医療法人愛彩利

監事 青見 英幸

（注１）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注２）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」、医療法第 51 条第 2 項に規定する医療法人については、「財産目録、貸借対照表及び損益計算書（医療法人会計基準第 3 条に規定する重要な会計方針の記載及び第 22 条に規定する貸借対照表等に関する注記を含む）、純資産変動計算書及び附属明細表」とする。